

2026年1月

お客様各位

拝啓 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素は格別のご高配を承り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、アートマーケットに対する懸念をよそに、年末にかけて活気あるセールが続き、最終的に前年比6%増の総売上約62億米ドル（約9,670億円）を達成いたしました。オークション部門で47億米ドル（約7,330億円、前年比8%増）、そしてプライベートセールでも15億米ドル（約2,340億円）と堅調に推移しております。

2025年ニューヨーク秋季セールでは、日本からDIC川村記念美術館の名品たちがオークション会場を席巻しました。モネ《睡蓮》を始め、シャガール、ルノワール、マティスなど、日本で愛されてきた至高のコレクションが競売にかけられると、会場は瞬く間に熱狂に包まれ、出品された全作品が完売となりました。なかでも驚くべきは、シャガール《ダビデ王の夢》で予想落札価格下限の3倍を上回る2,651万米ドル（約41億円）という驚異的な価格で落札。この歴史的な落札劇は、アジア圏、とりわけ中国を含む世界的なシャガール旋風を改めて印象づけることとなりました。

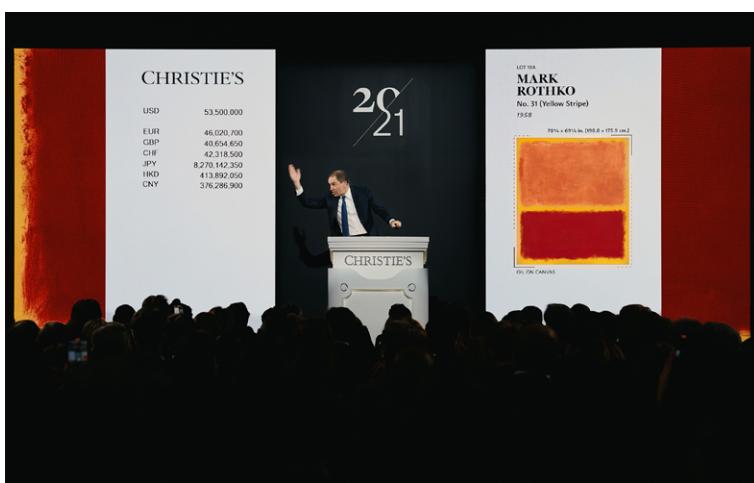
弊社人事におきましては、前CEOギヨーム・セルッティの退任に伴い、ボニー・ブレナンが新CEOに就任いたしました。また、アジア太平洋地域におきましても、昨年退任したフランシス・ペランの後任として、ラグジュアリー部門で30年の経験を積んだラフル・カダキアが本年1月に社長として着任いたしました。豊富な経験を持つリーダーシップのもと、新たな体制で皆様をサポートしてまいります。

また、今年はクリスティーズにとって創業260周年、クリスティーズアジア設立40周年の記念すべき年となり、特別なイベントも多数予定しております。1月末より、各部門のスペシャリストも来日し、マーケットの現状や今後の見通しについてご案内させていただきますので、この機会にぜひお問い合わせいただき、ご出品をご検討いただければ幸いです。本年も引き続き、作品のご売却・ご購入について、皆様のご要望にお応えできれば幸いに存じます。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

株式会社クリスティーズジャパン
代表取締役社長 山口 桂



11月ニューヨークでワイスコレクションのトップロット、マーク・ロスコの《No. 31 (Yellow Stripe)》が6,210万米ドル（約96.9億円）で落札される様子

*日本円は参考価格（US\$1= ¥156） 落札価格は買手手数料を含む

20世紀・21世紀美術

担当： 河崎 千恵

20世紀・21世紀美術 11月 ニューヨーク

The Collection of Robert F. and Patricia G. Ross Weiss November 17

20th Century Evening Sale November 17

21st Century Evening Sale Featuring Works from the Edlis/Neeson Collection November 19

2025年11月中旬に開催されたニューヨーク・オータム・マーキー・ウイークの落札総額は、約9億6,500万ドル（約1,505億円）に達しました。これは、2022年11月に故ポール・アレン氏のコレクションが個人所有のアートコレクションとして史上最高額を記録して以来、クリスティーズにおける最も高水準の結果です。

2021年前後に見られた過度な高揚感や投機的な熱狂は影を潜める一方、適正と判断された価格帯には確実に需要が集まり、作品の質と価格の妥当性がより重視される段階に入っていることを示すセールとなりました。

トップロットは、[ロバート&パトリシア・ワイズ・コレクション](#)より出品されたマーク・ロスコ《No.31 (Yellow Stripe)》で、約6,210万ドル（約96.9億円）で落札されました。本ロットでは、ライブオークション史上最高額となるオンライン入札も記録され、ハイエンド市場においてもデジタル入札が定着していることを印象づけました。

全セールを通じた落札率は、ロットベースで90%、金額ベースで96%。1,000万ドル（約15.6億円）を超える落札作品は22点を数えました。単一の超高額ロットが全体を牽引する構図ではなく、20世紀・21世紀のイブニングセールからデイセール、オンラインまで、幅広いカテゴリーと価格帯で安定した需要が確認されました。



DIC 川村記念美術館コレクション
クロード・モネ 《睡蓮》
落札額：\$45,485,000（約71億円）
11月17日 NY 20世紀美術イブニングセール

地域別では、アメリカが58%、欧州・中東・アフリカ地域が23%、アジア太平洋地域が19%を占め、アメリカ市場の存在感が改めて際立つ結果となりました。

[川村記念 DIC 美術館コレクション](#)の総売上は、約1億847万ドル（約169.2億円）を記録しました。出品作品のうち、[クロード・モネ《睡蓮》](#)は約4,550万ドル（約71億円）で落札され、[マルク・シャガール《ダヴィデ王の夢》](#)は約2,650万ドル（約41.3億円）に達しました。これはシャガール作品として、オークション史上2番目に高額な落札結果です。

このほかにも著名なコレクションが複数出品され、[ロバート&パトリシア・ワイズ・コレクション](#)は2億1,806万ドル（約340.2億円）、[アーノルド&ジョアン・ソルツマン・コレクション](#)は約1億1,000万ドル（約171.6億円）、[エレイン・ウィン・コレクション](#)は約8,615万ドル（約134.4億円）を売り上げました。いずれも一貫性と質を備えた内容であり、「どのような視点と文脈で形成されたコレクションか」が、これまで以上に市場で重視されていることが伺えます。

また、[デイヴィッド・ホックニー](#)や[キム・ファンギ](#)といった作家の代表作も、過度な競り上がりを伴うことなく、国際的評価に見合った水準で安定した支持を集めました。今シーズンの市場では、短期的な転売益や急激な価格上昇を狙う動きは後退し、来歴、作品の質、価格の妥当性、そして美術史的文脈を重視する成熟した買い手が主導していた印象です。

DIC 川村記念美術館コレクション
マルク・シャガール 《ダヴィデ王の夢》
約2,650万ドル（約41.3億円）
シャガールとして2番目の高額落札額
11月17日 NY 20世紀美術イブニングセール



マーク・ロスコ 《No. 31 (Yellow Stripe)》
約6,210万ドル（約96.9億円）
11月17日 NY ロバート&パトリシア・ワイズ・コレクション



*日本円は参考価格（US\$1= ¥156）落札価格は買い手手数料を含む

20世紀・21世紀美術セール 9月 香港 20th and 21st Century Art September 26-27



パブロ・ピカソ《女性の胸像 (Buste de femme)》
約 1 億 9,675 万香港ドル（約 39.4 億円）
9月 26 日 香港 20・21世紀美術イブニングセール

2025年9月下旬に開催されたクリスティーズ香港「20世紀／21世紀 秋季セール」は、アジアにおけるアートマーケットの底堅さと成熟を改めて示す結果となりました。イブニングセールおよびディセールを通じた総売上は、8億1,700万香港ドル（約163.4億円）で、今秋季アジア市場で最大規模のオークションとして位置づけられました。

落札率はロットベースで96%と非常に高い水準を維持し、落札価格は予想落札価格下限比121%。全体の51%が予想落札価格上限を上回って落札されました。選別が進んだ市場環境下においても、質の高い作品への需要の強さが際立ちました。

最大のハイライトは、パブロ・ピカソ《女性の胸像 (Buste de femme)》でした。本作は約1億9,675万香港ドル（約39.4億円）で落札され、アジアにおけるピカソ作品のオークション最高額を更新しました。このほか、ザオ・ウーキー、クロード・モネ、草間彌生、マルク・シャガールといった20世紀美術を代表する作家の作品が堅調に競り上がりました。

地域別では、グレーター・チャイナを中心にアジアからの入札が主導する一方、32か国・5大陸からコレクターが参加。さらに、全体の約20%を新規バイヤーが占め、その多くがミレニアル世代であった点も、今後の市場動向を考える上で注目されます。

香港では、ヘンダーソン・ビルディングへの社屋移転から1周年を迎える節目の年となり、今回の結果は「量より質」を重視する戦略と、アジアにおける20世紀・21世紀美術の持続的需要を改めて印象付けました。また、作品の質と来歴に加え、国際性といった要素が、アジア市場の現在の価値判断の軸となっていることがはっきりと示されるものとなりました。

東洋美術

担当：伊波 誠二、久世 雅彦

日本・韓国美術 9月 ニューヨーク Japanese and Korean Art September 16
Arts of Asia Online September 10-25

今回のオークションは、アメリカによる新たな関税措置が導入されてから初めての開催となりました。絵画や版画、作家が特定されている彫刻などは関税率0%ですが、それ以外のカテゴリーでは米国居住者が落札した場合、買い手に対して15%の関税が課されることとなり、その影響が懸念されていました。しかし、実際は大きな混乱はなく、アメリカからの入札および落札者数は全体の約5割を占め、過去数シーズンと遜色ない極めて安定した結果となり、クリスティーズは同時期・同分野のオークションマーケットシェア78%を樹立いたしました。

日本・韓国美術ライブセールのトップロットは葛飾北斎《立美人図》で、44万4,500米ドル（約6,900万円）、他にキム・ファンギ《Untitled》17万7,800米ドル（約2,800万円）、岡田謙三《Rock》13万9,700米ドル（約2,200万円）、井上有一《属》10万1,600米ドル（約1,600万円）と続き、近現代作品の需要と新規顧客の参加が見られました。

Arts of Asiaオンラインセール内の日本美術では、葛飾北斎「富嶽三十六景」の三役が揃い、《神奈川沖浪裏》は50万8,000米ドル（約7,900万円）、《凱風快晴》は22万8,600米ドル（約3,600万円）、《山下白雨》は11万4,300米ドル（約1,800万円）となりました。特に、その内2点は新規顧客が落札するなど、デジタルプラットフォームの重要性を再認識する結果となりました。

葛飾北斎《立美人図》
44万4,500米ドル（約6,900万円）
9月16日 ニューヨーク 日本・韓国美術オークション



*日本円は参考価格 (US\$1= ¥156 HK\$1= ¥20) 落札価格は買い手手数料を含む

中国書画 10月 香港

Fine Chinese Classical Paintings and Calligraphy October 28
Fine Chinese Modern and Contemporary Ink Paintings October 29

中国古书画で今季特に注目を集めたのは、北米にある最も著名な中華系アメリカ人の個人コレクションの一つで40年以上に亘ってアメリカの美術館に寄託された作品群より出品された周臣、華嵒含む3点の絵画でした。なかでも、最高額を記録したのは倪瓈《江亭山色》で、予想落札価格の7倍、約1.6億香港ドル（約32億円）で落札され、今季アジア圏で初めて1億香港ドルを超える作品となりました。

他に複数の所蔵歴がある趙孟頫（款）《枯樹賦圖卷》は4,198万香港ドル（約8.4億円）、台湾国立故宮博物院の元副院長、書画部部長で書家としても有名な江兆申コレクションより陳淳の草書李白《襄陽歌》は1,392万香港ドル（約2.8億円）、羅振玉と日本を繋ぐ個人コレクションパートII、15点の内、祝允明《行草「閒情賦」「古風」書卷》が762万香港ドル（約1.5億円）と予想落札価格下値の6倍越えとなりました。

近代書画では戦前から続くアメリカ美術商のアリス・ボニーの来歴や、数々の世界的展覧会歴、所蔵歴を持つ傅抱石《竹林七賢》が5,906万香港ドル（約12億円）で落札され、予想落札価格の3倍に達しました。

この結果、総額約5億香港ドル（約96億円）を記録し、前年同期比で86%増加。平均落札価格はエスティメート下限を221%上回り、この分野への高い需要を裏付ける結果となりました。



倪瓈《江亭山色》
約1億5,995万香港ドル（約32億円）
10月28日 香港 中国古书画オークション

中国美術（器物） 9月 ニューヨーク
9月 香港

Important Chinese Furniture and Works of Art September 18-19
The Au Bak Ling Collection Volume II October 30
The Ai Lian Tang Collection - Imperial Scholar's Objects October 30
Important Chinese and Asian Works of Art October 30

米国の中国製品に対する関税の影響により、米国外からの出品作品が不在の中、9月18-19日の二日間にわたり開催された弊社ニューヨーク中国器物セールでは、落札率は90%を超え、底堅い市場の勢いが感じられました。

「雍正御製」銘をもつ珐瑯彩三点やマンスカップを含むトマス R ヴォーン氏(1908-1979)旧蔵の47点の中国陶磁器コレクションは、すべて落札され、セール全体で3,180万米ドル（約49億円）を売り上げました。セールのハイライトは、長さ2メートルにもおよぶ黄花梨の卓で、予想落札価格の9倍に競上がり、約337万米ドル（約5億2千万円）で売却されました。

10月30日の香港中国美術セールは、區百齡や愛蓮堂のコレクションが高い評価を得、セール全体で落札率は85.7%、3.7億香港ドル（約74億円）を売り上げました。



黄花梨有束腰霸王枨翘头桌 17世紀
約337万米ドル（約5.2億円）
9月19日 NY 中国器物・家具オークション



珐瑯彩胭脂红花卉文碗 「雍正御製」銘
清雍正（1723-1735）
約158.8万米ドル（約2.5億円）
9月19日 NY 中国器物・家具オークション



銅胎畫珐瑯八方雁安黃地番花燭現藍料雙方框
清乾隆（1736-1795）
約3,710万香港ドル（約7.4億円）
10月30日 香港 愛蓮堂コレクション

ラグジュアリー

宝石担当：笠原 可名 時計担当：玉置 雅司



「青の宝石」

11月11日のスイス・ジュネーブを皮切りにスタートした秋の宝石オークション。ブルーダイヤモンド、サファイア、パライバ・トルマリンと「青の宝石」が次々とトップロットを飾り、カラーダイヤモンド・カラージュエムへの需要の強さを改めて確認するシーズンとなりました

宝石 11月 ジュネーブ *Magnificent Jewels November 11*

ジュネーブに出品されたのは「メロン・ブルー・ダイヤモンド」と名付けられた9.51カラットの巨大なファンシー・ビビッド・ブルー・ダイヤモンド。メロンは果物ではなく、旧蔵したアメリカ人資産家レイチェル・ランパート・メロンにちなんだものです。「バニー」の愛称で知られた彼女は慈善家としてだけでなく、J.F.ケネディ大統領時代にローズ・ガーデン（ホワイトハウス）を再設計したアメリカを代表する造園家として、そしてシュランバーゼを初めとする名ジュエラーたちのパトロンとして、オークションに登場するたび注目を集める蒐集家の一人。そんな彼女の卓越した審美眼を象徴するこのブルーダイヤは2,052万スイスフランで落札され、弊社史上、3番目に高価なビビッド・ブルー・ダイヤとして歴史にその名を刻みました。

《メロン・ブルー・ダイヤモンド》
2,052.5万スイスフラン（約39億円）
11月11日 ジュネーブ 宝石オークション



宝石 11月 香港 *Magnificent Jewels November 25*

次の香港オークションでトップロットに輝いたのは、印・パ国境沿いの雪深い山岳地帯に存在した伝説のカシミール鉱山から採掘したサファイアの中でも、SSEF・Gubelin（グベリン）両研究所より高貴な青の象徴である「ロイヤルブルー」の称号が与えられたサファイア16石（3.43～13.37カラット）で作られた一点。本作を筆頭に、香港ではオークション全体の1/3をカラージュエムが占め、注目度の高さを示す作品構成となりました。



《「ザ・ロイヤル・ブルー」サファイアとダイヤモンドのネックレス》
約1.3億香港ドル（約25億円）
11月25日 香港 宝石オークション

宝石 12月 ニューヨーク *Magnificent Jewels December 10*

またニューヨークでは、マックス&セシル・ドレイム夫妻の美しいジュエリコレクション38点が登場。なかでもティファニーが手掛けたパライバ・トルマリン・ネックレスはオークション前から多くの問い合わせをいただき会場・電話・オンラインの白熱した入札の末、事前エスティメートの10倍に及ぶ422万米ドル（約6.5億円）で落札。パライバ・トルマリン作品として、またパライバ・トルマリンの1カラット当たりの価格としてオークション史上最高額を樹立しました。



ティファニー製《パライバ・トルマリン・ネックレス》
422万米ドル（約6.5億円）
12月10日 ニューヨーク 宝石オークション

時計 11月 ジュネーブ Rare Watches November 10

ジュネーブオークションは、約 2,160 万スイスフラン（約 42 億円）の売上を達成し、前年比 18%、落札率はロットベースで 99%、金額ベースで 98% という大変素晴らしい結果でした。39か国からの入札者および購入者の 34% がミレニアル世代および Z 世代でした。

セールを牽引したのは、スペシャルエディションのパテック・フィリップ リファレンス 3970（プラチナ製、サーモンダイヤル）で、139 万 7,000 スイスフラン（約 2.7 億円）を記録、ヴィンテージおよびネオヴィンテージの時計に対する大きな需要が見られました。

また、オーデマ・ピゲの創業 150 周年を記念し製作された、ダイヤモンド、ルビーがセットされたプラチナ製、ユニーク自動巻き永久カレンダー時計が 67 万 3,100 スイスフラン（約 1.3 億円）で落札されました。



オーデマ・ピゲ プラチナ製
ユニーク自動巻き永久カレンダー
67 万スイスフラン（約 1.3 億円）
11月 10 日 ジュネーブ 時計オークション

時計 11月 香港

The John Shaw Patek Philippe Collection November 26
Important Watches: Featuring "The Chronicle Part 2" and "The Eternity" Collections November 26-27

香港で 2 日間にわたり開催された 2 つのライブ・セールの総額は約 3.5 億香港ドル（約 70 億円）に達し、アジアにおけるオークションハウス史上、最高の秋季セールとなりました。全体として落札率 93%、落札総額は予想落札価格（下限）を 138% 上回るという好成績を収めました。

まず、特別なシングルオーナーセール「ジョン・ショウ・パテック・フィリップ・コレクション」が 100% 落札のホワイトグローブセールで完結。合計約 5,254 万香港ドル（約 10.5 億円）を達成しました。ジョン・ショウ氏の情熱が詰まったラインナップは、世界 24 か国から入札を集め、時計コレクターの枠を超えた幅広い層を魅了しました。購入者の 27% がクリスティーズの新規のお客様であり、半数近くのバイヤーがオンラインで取引を行いました。

そして「クロニクル・パート 2」と「エタニティ・コレクション」を含むメインセールは、落札総額 約 3 億香港ドル（約 60 億円）に達し、パテック フィリップのリファレンス 5004P-041, 5016P-018, 3974J-001, 5029P, 3939HP, 3970EJ、ティファニー社のダブルサイン、3971ER, 3990P, 5159R の 9 つのオークション世界記録が樹立されました。

時計 12月 ニューヨーク

Important Watches December 9

ニューヨークでは、930 万米ドル（約 14.5 億円）の売上を達成、ロットベースで 96% が落札され、トップロットは、エドリス／ニーソン・コレクションからの《チャールズ・フロドシャム製 銀無垢 グランド&ブチ・ソヌリ ハンプバッック トゥールビヨン キャリッジクロック》で、予想落札価格下限の 5 倍近くとなる 95 万 2,500 米ドル（約 1.5 億円）を達成しました。入札者は世界中に及び、52% が米州、19% がアジア太平洋地域、29% が EMEA（ヨーロッパ・中東・アフリカ）からでした。入札者と購入者の 42% がクリスティーズの新規顧客でした。オークション会場では、珍しいパテック・フィリップやカルティエの時計に対し、オンライン、電話、ルームビッドの激しい競争が繰り広げられました。

ファーストシリーズの《パテック フィリップ カラトラバ Ref. 2526 「セルビコ・イ・ライノ」ダブルネーム ブラックエナメル文字盤》が 66 万米ドル（約 1 億円）を記録。また、チャールズ・マリオン・ラッセルによる絵画を施した《パテック・フィリップ『ザ・スカウト』ユニクロピース》は、予想落札価格下限 10 万米ドルに対し 52 万米ドル（約 8,112 万円）で落札されました。

また、愛好家から「バットマン」シェイプと呼ばれるカルティエ ゴールド クッション型 リストウォッチは、予想落札価格下限 8,000 米ドルに対し 7 万 6,200 米ドル（約 1,190 万円）で落札され、当初予想の 10 倍近くという驚異的な結果を達成しました。



《パテック フィリップ カラトラバ
Ref. 2526 「セルビコ・イ・ライノ」
ダブルネーム ブラックエナメル文字盤》
66 万米ドル（約 1 億円）
12月 9 日 NY 時計オークション

スペシャリスト来日予定

20/21世紀美術	印象派・近代絵画 ニューヨーク	
	アンヌ・チャトコウ	1月 26 日(月)～1月 30 日(金)
宝石	香港 ヴィッキー・セック	1月 28 日(水)～2月 3 日(火)

\ click ↓ /



クリスティーズジャパン
日本語 WEBPAGE

Follow Christie's

